

【高校生授業】大平台高生 企業取材の成果を発表！

浜松市西区の浜松大平台高の3年生が7日、マーケティングの授業の一環で、地元企業に商品・サービスのこだわりや仕事への思いを取材した成果の発表会を同校で開いた。

「目標持ち働く大切さ学んだ」

生徒11人が4グループに分かれ、市内の美容室、自動車販売店、学習塾など8事業所を取材した。発表会ではスライドショーを使い、接客の工夫や経営戦略を紹介した。

西区の菓子店「治一郎大平台本店」を取材したグループは、看板商品のパウムクレーンの味を定期的に変えるという、挑戦する姿勢が印象に残ったと発表した。卒業後は製造業に就職予定の平英司さん(18)は「理念や目標を持って働く大切さを学んだ」と話した。



考にしてもらおうと、LPガス販売のエネジソン(中区)や浜松いわ

(西区)、不動産会社

のマストレ(西区)が

協力した。

浜松企業の工夫、戦略紹介

仕事のこだわり 大平台高生取材

地元企業への取材成果を発表する生徒
＝浜松市西区の浜松大平台高

静岡新聞に、大平台高校の生徒が地元企業を取材した成果を発表した様子が掲載されました。

浜松いわた信用金庫入野支店様、不動産会社のマストレ様、エネジソンが、高校生に地元企業の取り組みを取材してもらい、進路選択の参考にしてもらおうという取り組みです。今後も、地域の皆様のお役に立てる活動に取り組んでまいります！

令和4年(2022年)10月10日(月)

静岡新聞

